長時間労働是正に向けた <u>15の勘所</u>

仕事を見直し、生産性を上げるプロジェクトマネジメント!

## 働き方改革

ハンドブック

情報通信業(情報サービス業編)のご案内

あらゆる産業がソフトウェアを駆使して新たなイノベーションを起こしていく デジタルビジネス時代。情報サービス産業は、これからの若者が活躍するのに ふさわしい、魅力ある産業にならなくてはなりません。



## **◆⋙** 長時間労働対策に必要不可欠なプロジェクトの現場での取組をまとめた「15の勘所」**≪**

人事・労務面からの アプローチ トップマネジメントの リーダーシップ

プロジェクトの 現場でのアプローチ

プロジェクトの現場で長時間労働の原因となる問題を15個抽出\*。問題がどの「分野・フェーズ」で起きているか体系的に把握。

問題解決に役立つトラブル防止・生産性向上等の取組を「15の勘所」(裏面参照)として整理。

\*プロジェクト・リーダ対象のアンケート調査と企業対象の 事例調査に基づいています。 ● 大規模すぎる案件

プロジェクト 特性

- 会社として実績がない、経験が不足している案件
- 3 発注者の協力が得られない
- 4 不明確な仕様

受 注

- 5 過小な工数、短すぎるプロジェクト期間
- 6 メンバーの能力や経験が不足している

プロジェクトの

7 仕様変更の依頼がある

──建名 設計•閏発 \

- 8 品質とセキュリティ等のトラブルの発生
- ( 設計・開発` テスト
- 9 追加工数に人員が十分に投入されないこと
- 10 開発状況の把握と共有化ができていない

納入(検収)

- 11 検収条件が明確にされない
- 12 仕様以上の過剰品質の開発を行う

プロジェクト 推進の基盤 / 全社的な \

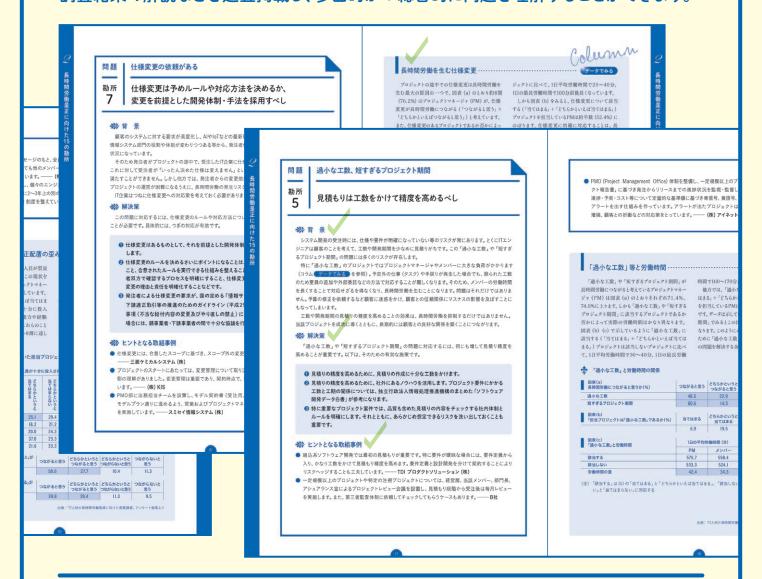
支援体制

- 13 作業の標準化ができていない
- 4 生産性の基準がなく、 生産性が把握できていない
- 15 現場、担当者が問題を抱え込むことに 対応していない



## 長時間労働が生む問題と解決のための15の勘所

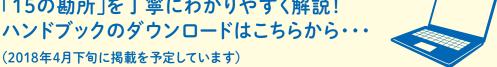
15個の問題の解決策を「15の勘所」として示しました。ハンドブックではそれぞれの勘所が 背景、解決策、ヒントとなる取組事例から構成されています。また、コラムとしてアンケート 調査結果の解説などを適宜掲載し、多面的かつ総合的に問題を理解することができます。



長時間労働の生む問題と解決のための「15の勘所」の詳細は「働き方改革ハンド ブック――情報通信業(情報サービス業編)」に記載されています。



「15の勘所」を丁寧にわかりやすく解説! ハンドブックのダウンロードはこちらから・・・



http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/ koyou\_roudou/roudoukijun/shigoto/it/doc.html

